2026年度第1回イノベーション委員会

「オープンイノベーション含む“共創”文化の形成」

～三重県のスタートアップの施策と事業共創の事例～



令和8年10月9日(金)

三重県雇用経済部産業イノベーション推進課　主任　小松　裕

01 三重県のスタートアップの取組

スタートアップの成長段階に応じて、3つの分野を柱に支援

① 事業成長

主な事業

- インキュベーションプログラム
- アクセラレーションプログラム

② 事業共創

主な事業

- オープンイノベーション推進事業

③ 資金調達

主な事業

- スタートアップ支援補助金
- インキュベーション施設整備補助金

各事業の中心

みえスタートアップ支援プラットフォーム

県内外の産学官金の機関が参画する、県内で活動するスタートアップへの支援を目的とした合議体

90機関

が参画（産学官金）

※令和8年10月9日時点

01 三重県のスタートアップの取組

本日は、3つの柱のうち「②事業共創」の取組をご紹介します

① 事業成長

主な事業

- インキュベーションプログラム
- アクセラレーションプログラム

本日ご紹介

② 事業共創

主な事業

- オープンイノベーション推進事業

③ 資金調達

主な事業

- スタートアップ支援補助金
- インキュベーション施設整備補助金

各事業の中心

みえスタートアップ支援プラットフォーム

県内外の産学官金の機関が参画する、県内で活動するスタートアップへの支援を目的とした合議体

90機関
が参画（産学官金）

※令和8年10月9日時点

02 三重県のオープンイノベーションの取組

令和4年度

外から技術を呼び込む

- 地域・社会課題の克服に向け、革新的な技術・サービスを県外の企業やスタートアップから公募
- SmartCityXと連携し、グローバル・オープン・イノベーションとして推進

令和5年度

動き出した流れを定着させる

- スタートアップとの連携に向け、県内事業者の機運を広く醸成
- 前年度の流れを一過性で終わらせず、定着・加速

視点を「県内の事業者をどう動かすか」へ

令和6年度

マッチング後も伴走する

- スタートアップと県内企業の双方向マッチングを促進
- 成立した事業共創を伴走支援し、事業化を加速
- セミナー・ワークショップで機運醸成も並行

令和7年度

自ら動ける県内企業へ

- 課題解決を必要とする県内企業と県内外スタートアップのマッチング・伴走支援
- 連携方法・マッチング手段・事業共創の手法など実践的なセミナーを開催

R7年度～ SHIBUYA QWS加入
R8年度～ STATION Ai加入

4年間の歩み ― 3つの段階

第1段階	第2段階	第3段階
外から技術を呼び込む	機運を醸成し、マッチングを生み出す	共創を伴走し、事業者が自ら動ける状態へ

行政が主導して場をつくる形から、県内の事業者が自ら相手を探し、自ら共創を進められる状態へ

03 事業共創の実績（令和4～7年度・全15件）

令和4年度　4件

食×フェムテック
＝ヘルスケア飲料を開発
(有)二軒茶屋餅角屋本店 × (株)DELICE

製菓工場×DX化
＝データの見える化
IXホールディングス(株) × (株)フューチャースタンダード

保冷剤×ペットケア
＝消臭抗菌冷感マット
三重化学工業(株) × (株)インターリンクス

代表事例
緑化×省エネ技術
＝室外機の温度を下げるマット
南出(株) × (株)環境エネルギー総合研究所

令和5年度　3件

代表事例
製薬会社×文書作成AI
＝作業時間1/3
万協製薬(株) × (株)EQUES

介護事業者×新技術
＝介護職員の介助ベルト
(株)エムケイ・コーポレーション × (株)エナジーフロント

グラスウール×ぷちぷち
＝新断熱素材
(株)リバ技研 × 川上産業(株)

令和6年度　5件

代表事例
介護事業所×IT
＝受付業務DX
(株)PlanB × (株)サウンド＆ヴィジョンテクノロジーズ

伝統的ものづくり技術×AI
＝金属加工の工程を標準化
城田鋳工(株) × AltoAir(株)

伝統薬×アロマSU
＝芍薬(しゃくやく)アロマ
伊勢くすり本舗(株) × (株)コードミー

再参加
廃棄プラスチック×緑化
＝新しい緑化資材へ再生
(株)ヨシザワ × 南出(株)

廃棄プラスチック×アップサイクル
＝新商品へ再生
(株)ヨシザワ × (株)REMARE

令和7年度　3件

インフラ技術×SU特許
＝電源不要の自動止水板
宇野重工(株) × (有)ハーティー・メッセージ

建設会社×AI
＝現場の工程最適化
(株)近藤建設 × (株)フツパー

代表事例　再参加
廃棄トレイ×アップサイクル
＝再資源化
三坂ライト工業(株) × (株)REMARE

代表事例：次ページ以降で詳しくご紹介　／　再参加：過去に事業共創へ参加した企業が、新たな相手と再び共創した事例

04 事業共創の代表事例（令和4・5年度）

令和4年度

消費電力10%削減

南出（株） 創業100年の老舗緑化資材企業
×
（株）環境エネルギー総合研究所 エネルギー・環境系シンクタンク

取組テーマ
水の気化熱を利用してエアコン室外機を冷却する「GXマット」の開発

ここがスゴイ

1. 電気の力ではなく、気化熱の力を使用
2. 保水は雨水も使用可能（過酷な環境では補給水でより効果的）
3. 企業との実証実験や大学との共同研究も実施済

進捗　令和8年7月に「GXマット」の特許取得済



消費電力10%削減



特許を取得

令和5年度

業務時間66%削減

万協製薬（株） 医薬品・化粧品企業
×
（株）EQUES 東大松尾研発SU

取組テーマ
品質保証部門の膨大な文書作成・管理業務をAIエージェントで効率化

ここがスゴイ

1. 文書自動生成で業務時間を66%削減
2. 業界特有の専門用語を標準装備
3. セキュリティ対策も万全

進捗　令和7年2月に製薬業界向けAI SaaS「QAI GENERATOR」をローンチ



大幅な時間短縮を実現



製薬業界向けAI SaaSをローンチ

04 事業共創の代表事例（令和6・7年度）

令和6年度

受付業務 約180分→約30分

（株）PLAN B 介護事業者
×
（株）サウンド＆ヴィジョンテクノロジーズ 音声・画像解析SU

取組テーマ
介護事業所の受付業務をDXし、業務効率化

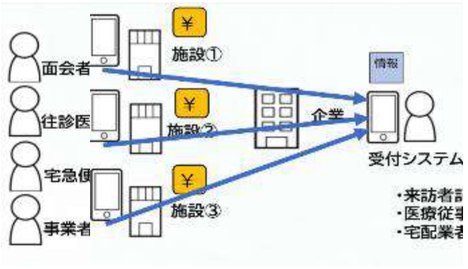
ここがスゴイ

1. 1日約180分の受付業務を約30分に短縮
2. 多拠点の受付業務をタブレット1台で一括管理
3. 受付のデジタル化で集計・管理コストを削減

進捗　令和7年4月に受付システムの開発を開始。
以降、PLAN B社でプロトタイプを検証中



業務時間・コスト削減効果



受付システムによる一括管理イメージ

令和7年度

年間30万枚を再資源化

三坂ライト工業（株） 業務用トレイ国内トップクラス企業
×
（株）REMARE アップサイクルSU

取組テーマ
廃棄される業務用トレイをアップサイクルして製品化

ここがスゴイ

1. 年間30万枚の廃棄トレイを再資源化
2. REMARE社の独自技術で製品化
3. 商社と連携した販売網を構築

進捗　令和8年10月、東京での展示会に参加し販路開拓を推進予定


大量の廃棄トレイ


アップサイクル家具（試作品）

05 令和8年度の取組

今年度、実証実験支援事業「MIE StartUp FIELD」を開始

県内中小企業の課題に限らず、行政のフィールドも含めたスキームで事業規模を拡大し、多様な形での課題解決をめざす

実証実験の進め方は、大きく2パターン

A 課題提示型

実証フィールドが抱える課題を提示し、
それに応えるスタートアップとマッチング

B 提案型 MIE StartUp FIELDが採用

スタートアップから実証実験の内容を提案
審査のうえ支援するスタートアップを選定

MIE StartUp FIELDの流れ（提案型）

- 6月 スタートアップが実証実験の内容を提案
- 7月 提案内容を審査し、支援するスタートアップを選定
- 8月 県内の実証フィールドを探索
- 9月 スタートアップと実証フィールドをマッチング

実証実験期間

- 2月 成果報告会

06 令和8年度の実績と次年度に向けた課題

今年度の実績（年度途中時点）

70件
本事業への応募に向けた相談件数

24社
本事業への応募件数

6社
採択企業数

✓ 採択6社すべてが実証フィールドとマッチングし、実証実験の実施に向けて進行中（追加の実証計画を立てる企業も）

次年度に向けた課題と方向性（現状案）

今年度の課題

採択時点では受け入れ先が未定のため、提案に合う
実証フィールドが見つからず、実証の内容・時期の調整に
時間を要した

次年度の設計（案）

スタートアップと実証フィールドがマッチングしている状態で
審査し、審査後の実証をスムーズに実施

提案起点は維持しつつ、審査時点でフィールドが決まっている状態をつくり、2つのパターンの良さを両立